

# 金沢学院大 初優勝

## 卯辰山 全日本大学相撲金沢大会

大学日本一を決める第12回全日本大学選抜相撲金沢大会（日本学生相撲連盟、金沢市、北國新聞社、大会実行委主催）は17日、金沢市の石川県卯辰山相撲場で3年ぶりに行われ、団体決勝で金沢学院大が日体大を3-2で破って初優勝を果たした。個人はデミテジャムツ（同志社大4年）が優勝、池田俊（金沢学院大3年）が準優勝と健闘した。 【15面に関連記事】

# 池田 個人2位



団体が初優勝した金沢学院大の選手。金沢市の石川県卯辰山相撲場

### 決勝で日体大下す

団体は12校（東日本8、西日本3、地元1）が出場し、予選上位8校による決勝トーナメントで争われた。金沢学院大は決勝で第1回大会覇者の日体大と対戦、先鋒戦を落とした後、二陣の池田が押し出し、中堅の可貴秀太（2年）が上手投げ、副将の大森康弘（1年）が相手の勇み足で3連勝し、栄冠をつかんだ。個人トーナメントは98人が出場し、決勝はモンゴル出身のデミテジャムツが上手投



個人戦準々決勝で日大の城間を破る金沢学院大の池田（右）

げで池田を下した。金沢学院大はこれまで第6回大会の団体3位が最高だった。この時は炎鵬（宮城野）がメンバーに入っていた。

開会式では大会長の村山卓金沢市長があいさつし、前回優勝校の日大の春山万太郎が宣誓した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で一昨年、昨年の大会が中止となり、3年ぶりに開催された。